

R 5 古見方地区「市民と市長のふれあい対話」での主なご意見と市の対応

古見方地区

2024.1月

No.	地区	項目	意見要約	市長回答	担当課	担当課補足
1	古見方地	墓地の支障木伐採について	山裾にある墓地の樹木が手に負えないほど生い茂っている。住民の力では対応できない状況なので、伐採などして整備してもらえないか。	県や市の土地であれば、担当課が確認の上対応します。個人の土地であれば、時間がかかってしまいますが、確認をさせていただき対応したいと思います。	環境対策課	樹木の伐採につきましては、土地所有者が伐採等を行うこととなるため、前勝集落墓地に関して、現在土地所有者を調査しております。 当該地が県や市の土地であれば担当課にて対応いたします。 私有地であれば、「奄美市集落共同墓地無緑化対策事業補助金」を利用していただき集落にて対応していただくこととなりますが、まずは現地を確認し、対応して参ります。
2	古見方地	用水路の排水不良について	し尿処理場の付近の用水路の排水が悪いため、改善してほしい。2025年頃に排水路を整備する計画があると聞くと、対応をお願いしたい。	具体的な場所を教えてください、担当課に対応させたいと思います。	農林水産課	し尿処理場付近の用水路の排水の改善については、2025年からし尿処理場前の道路の排水路整備を進めて参ります。 同時並行にて、大川へ繋がる水路の堆積土砂の除去も進めて行く計画ですが、大雨時に用水路から水が溢れるとの要望を伺いましたので、1月中旬に道路暗渠部分の土砂除去を実施いたしました。 今後も用水路の状況を確認し、対応して参りたいと考えております。
3	古見方地	道路の陥没について	道路が陥没している箇所がある。改善してほしい。	具体的な場所を教えてください、担当課に対応させたいと思います。 また、奄美市公式LINEの機能の中に、遊具の破損や道路の陥没といった危険箇所の画像に位置情報をつけて、市役所に送信できるという機能があります。ぜひご活用ください。	土木課	現場確認のうえ、2月1日に補修を行いました。
4	古見方地	集落の活性化について	小湊小学校は令和6年度から特認校となることが決定したので、学校存続のために集落としても頑張っていきたい。名瀬勝と小湊集落では、年3回地域活性化のための協議会を開き、集落に子どもを増やす取組みについて話し合っている。しかしながら、集落の取組みだけでは限界があるため、住宅建設など、市の力添えもいただきたい。	令和6年4月から、小湊小学校・知根小学校・市小中学校が新たに特認校となりますが、必ずしも児童・生徒を確保できたわけではないと伺っております。里親留学・クローズド留学なども含め、色んな選択肢をもって民間と行政が協力して進めないといけないと考えております。 住宅の建設については、費用も時間もかかり、また整備できても4戸程度と数が限られます。よりスピーディーで低コストで進められる方法として、空き家の活用を考えております。民間の皆様とともに取り組まなければ成果は出ませんので、来年度に向けて研究し、準備を進めてまいります。	プロジェクト推進課 企画調整課	空き家の活用については、令和6年度より外部人材や集落、民間事業者、空き家所有者と連携した「空き家解消による住環境総合対策事業」に取り組むとともに、引き続き「空き家バンク」「移住・定住者向けリフォーム・購入助成」制度を実施して参ります。
5	古見方地	フワガネク遺跡について	フワガネク遺跡の整備をお願いしたい。	フワガネク遺跡の活用計画が策定されましたので、それに基づき整備を行うという方針でありますので、地域の声も伺いながら進めてまいります。	文化財課	現在は、小湊町内会の皆さまに史跡小湊フワガネク遺跡の環境整備として伐採作業を行っていただき、史跡の周遊ルートを整備しています。しかし、周遊ルート内における史跡の説明等は少なく、史跡の価値を十分に高めることができおりません。 小湊フワガネク遺跡の保存活用計画の中で、現地見学におけるガイダンス機能（解説板等）の充実化を掲げております。計画に基づき整備していきたいと考えておりますので、地域の皆さまとご相談させていただきながら、進めさせていただければと思います。
6	古見方地	バス路線について	現在、県病院でバスの乗り換えが必要であるが、負担であり不便である。高齢者は免許証を返納すると不便になるとなれば、返納の意志がそがれるため、バス路線の不便性を改善してほしい。	路線バスは民間1社が運行していますが、バス路線自体の維持・存続が難しい状況と伺っております。運転手不足、燃料の高騰、機材の不足といった様々な事情があるようです。タクシーも含め、公共交通自体が大きな岐路に立たされている状況と感じております。地域の声を聞きながら、バス事業者と協議を進め、極力今の水準を維持できるようにしたいと考えております。 小湊から県病院まではコミュニティバスが運行しており、車両としては運転手の幅が広がるということで市内各路線で導入されています。しかしながら、大型二種免許となると保有者が少ないため、その旨をご理解いただきながら、路線維持に取り組んでいきたいと思っております。	商工政策課	バス路線の見直しについては、地域実情や住民の皆様の意向も踏まえ、また、将来にわたる持続可能な運行体制も考慮しながら、引き続きバス事業者と協議していきますので、ご理解賜りたいと思っております。 また、令和6年度には、持続可能な地域公共交通体系の構築を目的として、奄美大島5市町村で一体となって新たな「地域公共交通計画」の策定に取り組むたいと考えており、その中で、バス事業者をはじめその他交通事業者とも連携を図り、移動手段の確保に関する議論を深めていきたいと思っております。

No.	地区	項目	意見要約	市長回答	担当課	担当課補足
7	古見方地	山田川の整備について	山田川の整備ができていないのでほしい。ー昨年から今年度が整備の順番だと思っているが、まだ整備できていないのでほしい。	山田川については経過を確認し、担当者から連絡をさせていただきます。	土木課	河川の事業につきましては、現況を確認し、優先順位の見直しや対象河川の変更などを行いながら実施している状況でございますのでご理解いただきたいと思います。 また、職員において点検やパトロールを実施しておりますが、大きな変化などが見られた際には、当課までご連絡いただけますと幸いです。
8	古見方地	廃船について	小湊に放置している廃船を何とか対処していただきたい。	廃船の撤去についても、積極的に呼びかけておりますので、着実に進めていきたいと思っております。	農林水産課	放置船舶の対応については、まず船体へ撤去勧告の貼付を行います。その後、船舶番号（漁船登録等）がある場合は関係機関へ照会を行い、所有者が特定できる場合は「撤去通知」の発出、それでも対応が為されない場合は「撤去命令」へと対応が移行していきます。 所有者が不明な場合は周囲への聞き取り、所轄の警察署へ盗難届の確認等を行い、所有者を確定させたのちに、上記同様の対応を行います。小湊漁港の放置船舶についても上記の対応を行っているところであります。 所有者不明の船舶については周辺住民の方々にも聞き取り等ご協力をお願いすることがあると思いますがご理解、ご協力をいただければ幸いです。（小湊放置船舶数9隻）
9	古見方地	子どもの遊び場について	古見方地区には公園が1つもなく、子どもの遊び場は山、川、そして歩くこと。近くの学校が校庭の遊具を使わせてくださるので、滑り台で遊ぶことだけはできる。上方地区には集落ごとに公園があり、朝戸トンネルを越えれば、平田町にもいくつも公園があるので、古見方地区にも1つくらい公園があっても良いのではないかと。 先生から大川地区の子どもたちは体格が小さいからご飯をもっと食べさせて、と言われるが、それは全身を使って遊べる場がなく、スポーツ少年団もなくなり、遊べる機会を奪われているために体作りができないせいではないかと。 体を使って遊ぶことが楽しいと子どもたちに感じてもらうために、ぜひ公園を整備してほしい。	公園の整備については、市有地を造成した上で建設するなど多くの費用がかかるため、大川地区での公園整備の検討は進んでいないというのが実情です。そこで、学校の活用を1つの方法として考えております。1つの拠点に複数の機能を持たせることが公共施設整備の考え方の主流となっており、そのような意味でも、学校は教育の場であり、また地域の防災の拠点、地域活動の拠点、子育ての拠点、スポーツができる場所として活用ができると考えます。このように、1つの施設に多機能を持たせることが今後の公共施設の姿と考えておりますので、そういった点も含めて、引き続き考えていきたいと思っております。 もし、集落の所有で使用できる土地がありましたら、検討材料とさせていただきますので、地域とも話し合いをさせていただきたいと思っております。	農林水産課 教育委員会 総務課	【農林水産課】古見方地区には、農業集落居住者の憩いの場を提供する目的で整備した「農村公園（崎原・名瀬勝）」がありますが、当該公園においては、子供たちがスポーツ等をできる環境（広さ・遊具等）が十分でないことから、市長の回答が最も効率的であると考えます。 【教育委員会総務課】 補足なし。

No.	地区	項目	意見要約	市長回答	担当課	担当課補足
10	古見方地	学童の存続について	子どもが少ないため、学童の存続が危機的になっている。大川にはくっかるさんが運営する学童保育があるが、保育者確保の面で運営が難しく、なくなるかも知れないという話が2度あった。この窮状を新聞に掲載してもらったり、福祉政策課にも直談判に行った。しかしながら、学童の規模の大小にかかわらず学童には有資格が数名必要であり、現在の児童数では対応が難しいためどうしようもないとのこと。実際、保育者が確保できず学童が利用できない日があったり、利用時間が制限されたりしている。子どもがもっと多ければ、このような状況にならないと思う。	学童の支援員については、市や地域の方でも有資格者を探しておりますが確保できていない状況です。なるべく学童を長く利用できるように、引き続き人員の確保に努めたいと思います。	こども未来課	放課後児童クラブについては、放課後児童支援員を支援の単位（学童のクラス）ごとに1名、補助員を1名常に配置することを法令及び条例により定めております。 放課後児童支援員の確保が難しいというお話も伺っておりますが、県が実施している認定資格研修もございますので、地域で意欲のある方がいらっしゃいましたらぜひご紹介いただければと思います。
11	古見方地	古見方地区のアピールについて	古見方地区は、市街地まで車で15分程度で行くことができ、仕事が終われば人の多い街からすぐに自然豊かな地区に帰ることができる。給食センターや食肉センターなどの市の施設が次々と古見方地区に建設されていることから、利便性が良い地域なのだと思う。 その良さをアピールし、また部活動や友達作りに不便がありながらも素直に育っているこの地域の子もたちを知ってもらうためにも、公園など人が集まる場所を整備して多くの人に訪れてほしい。	古見方地区は、市の給食センター、タンカン選果場、農業研修センターそして食肉センターといった施設があり、いわば食と農の一大集積地であります。ふれあい対話の第1部においても、地元でとれた農産物を直販できるように整備できないかというご意見をいただきました。農業が非常に重要な時代となってきておりますので、その点も含め、古見方地区のアピールに取り組んでいかなければと考えております。 また移住の促進として、空き家の活用や土地の活用について、行政と民間、住民の皆様と共に取り組みたいと考えております。	農林水産課 企画調整課	【農林水産課】 農林水産課では古見方地区において、タンカン選果場・農業研究センターの管理運営の他、農業用水パイプラインの更新計画等々、様々の施策展開を行っております。 また、大島地区農産物地産地消推進協議会の運営を通して、地場産の農林産物の生産・流通と消費拡大を図り、地産地消推進に資する働きかけを実施しております。 さらに、以前は「農業ふれあいまつり」と称し、古見方地区で開催していたイベントを、去年度より「産業ふれあいまつり」とし、様々の地場産農林水産物の即売や体験等を街なかで行うことで、農村と都市部の交流を進めるための事業展開として実施しております。 【企画調整課】 補足なし。
12	古見方地	若年層向けの検診・健康意識向上の取組みについて	看護福祉専門学校の1年生は、先日、地域の実習で奄美市住用町、宇検村、瀬戸内町を回り、役場・診療所・社会福祉協議会で多くを学びました。宇検村では30歳以上の住民にがん検診補助、40歳以上にはすべてのがん検診を無料で実施しているとのこと。 奄美市では、このような若年層向け検診は実施していますか。また、若年層に対する健康意識向上の取組みを行っていますか。	【総務部長回答】奄美市では40歳から74歳までの方が検診補助の対象となっております。多くの方に検診を受診していただきたいですが、なかなか受診率が上がらない、また男性の早逝率は高い状況にあります。受診率を上げるために、健康増進課の職員や関係機関の皆さんが力を尽くしているところです。 【企画調整課長】健康増進課では保健師・管理栄養士などの専門職員がD1プロジェクトなどの健康増進の取組みを実施し、また検診の助成制度による受診の促進や、特定健診などの機会を捉えて病気による早逝対策に最大限の努力をしているところです。コロナ禍を経て、健康に関する市民意識の高まりがありますので、これを機に受診率の向上や市民の健康増進に繋げたいと考えます。 【市長回答】各事業所でも年1回の健診を行っており、また国保の方は市が実施する特定健診を受診していただいておりますが、受診率は20%に満たないと伺っております。市としても、事業所や個人事業者へ様々な働きかけを行っていきたく考えます。 何よりも、健康意識は子どもの頃からの教育が大事だと考えております。小学生や幼児の頃から、歯の健康をはじめ、丈夫な体作りに取り組まないといけないと考えます。ぜひ皆様のアイデアをお寄せください。	健康増進課 国保年金課	・子宮がん検診（20～30代） ・健康増進課 ・若年健診（20～30代：特定健診と同じ項目） ・国保年金課 ・働く世代へのアプローチ（事業所への出前講座） ・健康増進課 ・事業所対抗ダイエットレース ・国保年金課 【参考】 ・特定健診受診率（R1:35.3%、R2:38.4%、R3:34.8%、R4:36.0%） ・若年健診受診率（R1：13.4%、R2：16.8%、R3：9.8%、R4：10.4%） ※若年健診につきまして、R3までは30代が対象でしたが、R4から20代・30代が対象に変更になっております。

No.	地区	項目	意見要約	市長回答	担当課	担当課補足
13	古見方地	医療機関について	実習で保育所に行った際、小さい子を持つ保護者から、子どもが病気をしたときにかかる医療機関が少ないという声があった。	昨今、個人病院が徐々に閉鎖される状況にあり、市民の方々や議会からも問題提起を受けておりますし、医療関係者からも医療体制の維持が危ぶまれるとの話を頂いております。全国的に医療従事者が不足しており、また個人病院の開業もハードルが非常に高い状況です。医療体制の維持について、県や医師会など医療機関と市での話し合いを始めたところであり、何らかの方策はないか協議をしているところですが、奄美看護福祉専門学校の皆様にも、こういった地域の状況を見ながら進路について考えていただければと思います。	健康増進課	県が中心となって、医療体制維持のための調整会議が随時開催されており、その中で奄美市の現状も訴えているところです。 ただ、鹿児島県全体でも人口の減少及び高齢化率の割合の上昇が全国よりも高いため、現在でも県と各市町村で健康意識の向上や生活習慣病等の予防、医療機能の分化、連携体制の整備等に取り組んでおります。
14	古見方地	橋のひび割れについて	昨年1月に伊津部勝の山田川の土砂を除いていただき、感謝しています。もし上流で山崩れがあると、集落に川の水が流れ込んでしまうことが心配です。また、避難訓練で使用する山田川の橋が、縦横にひび割れている。この橋を渡らないと避難できないので、橋のひび割れは補強できないか。	急ぎ現状を確認し、担当課である農林水産課が対応いたします。	農林水産課	伊津部勝山田川にかかる橋にひび割れがあることについて、以前から確認して欲しいとの要望があり確認したところでございます。 橋の上部表面にひび割れが発生してますが、構造に支障が無いものですので安心していただければと思います。 今後、ひび割れが大きくなるようでしたら早急に対策を行いたいと考えております。
15	古見方地	防災施策について	市の防災対策で力を入れているところがあれば教えてほしい。	防災については、様々な観点からの取組みが必要です。 津波対策として避難時の参考にしていただく海拔表示板の更新について、令和5年度に実施致しました。また近年の取組みとしては、避難所となる集会施設の改修を行い、窓の修繕、トイレを男女で分けたり洋式に改修するなどの整備を進めております。 災害の情報については、あらゆる方法で伝達できるよう、SNSを利用したり、テレビの文字情報、地元ラジオなど様々な手段をとっております。防災無線が聞き取りにくい家庭には、防災ラジオの設置を行っております。 災害時要援護者や自力での避難が難しい方の避難援助については、民間と協力し避難計画を策定しております。 さらに、ペットとの同室避難が社会的に注目を集めていますが、同室避難が可能な避難所の開設を目指し、動物愛護団体と共に訓練をおこなっております。 また災害備蓄の充実や、家庭での備蓄の普及啓発なども行っており、自衛隊や警察、消防、海上保安、気象庁といった関係機関との連携体制づくりにも努めております。 災害対策において行うべきことは数多くありますが、やはり最も大事なものは、住民一人一人に当事者意識を持っていただくことです。災害発生時にどのように自分や家族を守るか、どこに避難するか、そういったことを日頃から考えておいていただきたいと思います。	総務課	補足なし
16	古見方地	帰省費用の補助について	奄美看護福祉専門学校の1年生には、帰省費用の補助があるが、2年・3年生まで補助の延長をお願いできないか。	奄美福祉専門学校が活性化することで、地域にも様々な波及効果がありますので、多くの学生さんに入学していただき、そのために市も運営の支援をさせていただいております。年間1,000万円の市の助成金の使い道は、学校で調整していただくので、事業の優先順位などについて、学生の皆様からも学校へ提案をしていただければと思います。	企画調整課	補足なし

No.	地区	項目	意見要約	市長回答	担当課	担当課補足
17	古見方地	若者を呼び込む施策と奄美市の未来像について	<p>実習先の大和村では、高齢化率が高く、若者が少ない状況だった。若者を呼び込むための奄美市の施策を教えてください。</p> <p>また、10年・20年後を見据えたビジョンを教えてください。</p>	<p>【企画調整課長】移住・定住促進のため、年に数回、都市部で開催される移住相談会にて奄美市のブースを設け、移住関連情報の紹介を行っております。また、かつての教員住宅などを定住促進住宅として整備し移住者向けに貸し出したり、空き家バンク制度により、市内の空き家をバンクに登録し、民間の不動産業者を介して移住者に貸し出す事業を行っております。</p> <p>また、職業の紹介については、地元の協議会などで紹介する取組も行っております。</p> <p>将来のビジョンにつきましては、令和5年度から市の総合計画である「奄美市未来計画（仮称）」を策定します。未来の奄美市に何が必要であるか、「くらし・仕事・つながり」という3つの考え方から未来像を描いております。計画案は奄美市のホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。</p> <p>そして令和6年度からは、総合計画を皆様に分かりやすくお伝えするために、奄美市の未来像をビジュアル化するというデザイン事業を実施します。</p>	企画調整課	補足なし
				<p>【市長】移住して来られた方には様々なメニューを設けて支援を行っております。人手不足が深刻な業種・業界に就職される方には10万円～20万円贈呈したり、住宅購入やリフォームの補助も行っております。</p> <p>しかしながら、移住者支援は全国どこの自治体でも力を入れて行っていますので、奄美市ならではの魅力を伝えることのできる支援を進めたいと考えております。例えば、昨年は奄美群島日本復帰70周年の事業で高校生や専門学校生など若い世代の方々が、自主イベントを実施するなどして頑張ってくださいました。若い方々や民間事業の方々とも力を合わせ、奄美の魅力を発信したいと考えます。</p> <p>また、子ども達への教育も非常に大切と考えております。歴史・自然・文化の面で様々な体験をしてもらい、将来帰ってきたいという気持ちを育みたいと考えます。「奄美市未来計画（仮称）」の中でも人口減少は重要な課題となっておりますが、次の3つの方向性で進めたいと考えております。</p> <p>①世界自然遺産の島として、心の豊かさにつながる自然を残し、活用していきたいと考えます。</p> <p>②食と農と健康の促進。健康により幸せを実感できる、その土台として食と農業を守っていく必要があります。</p> <p>③デジタル活用、ICT、DXの推進。①と②をさらに発展させ、より多く収益を得る稼ぐ産業づくりを進めたいと考えます。</p>	商工政策課	<p>本市では、市内の人手不足解消と移住者の増加を目的に、繁忙期が異なる地域の仕事を組み合わせて働き手を派遣する特定地域づくり事業協同組合「奄美市しまワーク協同組合」が昨年設立され、市は組合の設立及び運営経費の一部を補助しております。組合は、現在、職員5名を雇用し、組合員である加入事業所へ派遣し、人材確保につなげているところです。</p> <p>この他に、本市では市内事業所向けの支援策として、市の定める支援強化業種に就職した45歳未満の若年層の労働者に対して給付金を支給する「人材確保・就職支援事業」、市内事業所やフリーランス向けのスキルアップを目的とした研修、創業希望者向けの経営・財務・販路開拓・人材育成をテーマとした創業塾の開催、市内事業所が行う店舗の集客力向上に向けた取り組みに対し、その経費の一部を補助する「繁盛店づくり支援事業」、従業員の資格取得に対する「キャリアアップ助成事業」など、事業所の稼ぐ力の向上につながる取組を行っていますので、各事業の申請等をご検討の際は市商工政策課へお問い合わせください。</p>
				<p>本市の小・中学校では、主に、総合的な学習の時間に、奄美の自然や伝統文化、歴史等を調べ、体験する学習を行っています。</p> <p>本市といたしましては、学習の充実に向けて、ふるさと納税を活用した、あまみっ子ふるさと学習支援事業で各校に補助を行っており、補助金を活用して、大島紬の泥染め体験やカヌー等の自然体験、八月踊りやシマ唄、シマグチの伝承活動、復帰運動に関わる学習等を行っています。これらの学習を通しては、ふるさとへの慈しみや誇りをもつことにつなげてまいります。</p>	学校教育課	

No.	地区	項目	意見要約	市長回答	担当課	担当課補足
18	古見方地	求人に関するリクルートとの提携について	奄美に移住するにあたっては仕事・雇用の面が重要な問題となります。昨年、奄美市はリクルートとの連携協定を結んでいます。その連携に至った経緯を教えてください。 また、事業主としては優秀な人材を求めています。リクルートがどのように活用できるのか教えてください。	リクルートさんとは以前からの事業でご縁があり、奄美市の労働力不足という課題に対し、行政と地元事業者と共に取り組むため、昨年5月に離島の自治体としては初めて連携協定を結ぶに至りました。 インディードなどリクルート社の求人情報に無償で掲載させていただき、ホームページの情報修正なども無償で行っていただいています。市内の事業者がこの非常に有利な状況を活用して島内外から求職者を募り、採用に繋げることを目指しております。 しかしながら、常時雇用の求職者よりもギグワークと呼ばれる1～2時間程度の短時間での働き方を求める求職者も多いと思われ、事業者側の労働力を確保する意識の変化や、受け入れ体制の整備が必要な時代となっております。実際に、リクルートからの指導を受け、採用方法を変えた地元企業も何社かあります。働き方自体が大きく変わってきている時代だと思います。 採用に際しリクルート社を活用したい場合には、商工政策課が窓口です。どうぞ相談ください。	商工政策課	本市においても人材確保が喫緊の課題であるなか、(株)リクルートより、情報や人材が本土に比べて限られる離島に対しても、事業者における求人情報の発信力を強化することで人材不足の課題解消を図るご提案を頂きました。本市と(株)リクルートで協議を重ね、令和5年5月9日に「奄美市内企業等の求人情報の発信強化と人材確保・雇用促進に関する連携協定」の締結に至ったところです。 (株)リクルートとの連携協定以降、市内事業者を対象にした採用力向上セミナーを計3回開催し、計53団体にご参加いただきました。セミナー内容は、無料で求人募集ができる採用管理サービス「Airワーク 採用管理」の提供を通じて、市内事業者の採用ホームページ作成を支援し、事業者の仕事の可視化と求人募集情報の発信力強化を支援するものです。事業者が「Airワーク 採用管理」で採用HPを作成した際には、無料で求人検索エンジン「インディード」へ自動掲載を行うことができ、島内外の求職者に市内企業の情報発信を行うことができます。 本市では、引き続き、市内事業者の採用力向上に向けたセミナー等、雇用の定着を支援する施策を実施しますので、ぜひご活用ください。
19	古見方地	子ども医療費の助成について	医療機関窓口での無償化ができないか。	子ども医療費の無償化いわゆる現物給付については、都道府県の医療費制度によるものですが、鹿児島県は非常に残念ながら対応が遅れており、他の自治体に取り残されている状況です。重度心身障害者等医療費に関しては、自動償還払いが始まることになりましたが、子ども医療費については、奄美市も他の市町村と共同で鹿児島県に対して何度も要望書を提出しており、何とか県に決断していただきたいと考えているところです。時間はかかりますが、引き続き動向に注目していただきたいと思います。	こども未来課	医療機関窓口での支払い負担のない現物給付制度については、子ども医療費助成制度のなかで、非課税世帯の18歳までの子どもが対象となっているところです。 現在、課税世帯の未就学児分についても、窓口負担なく受診できるよう、現物給付制度の導入に向けて県と協議を行っております。 安心して、子どもを産み育てられる環境を整えるためにも、子どもにかかる医療費については、各制度(子ども医療費助成制度、ひとり親家庭医療費助成制度、重度心身障がい者等医療費助成制度)のさらなる拡充が図られるよう取り組んで参りたいと考えております。